坂 崎 小 学 校

創 立 明治5年

校長 都 築 孝 明

所在地 幸田町大字坂崎字揚り山 31 番地 電話 62-0115 FAX 62-0197 校地面積 16,135 ㎡ (施設台帳より引用) E-mail sakazaki@town. kota. aichi. jp

校訓

校章

よ い 子 つよい子 かしこい子



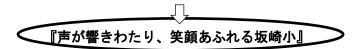


1 教育方針

(1) 本校の教育目標

校 訓	めざす子ども(象
よい子	礼節を重んじ、力を合わせて、心豊かに生活する子	(小)
つよい子	命を尊び、心や体を鍛え、汗を流す子	(体)
かしこい子	学ぶ楽しさを求め、深く考え、自ら学ぶ子	(知)

豊かな心をもち、目を輝かせて学び、たくましく生きる坂崎っ子の育成



(2) 経営方針

- ア 心(徳)・体・知の調和のとれた子どもの育成を図り、教職員と子ども・家庭・地域が信頼 し合える学校づくりを目指す。
- イ「常に子どもに寄り添い、子どもとともにある」を合い言葉に、教育活動を推進する。
- ウ「気づき」「つながり」「ふりかえり」を大切にした教育活動を展開する。
- エ 子どもの健やかで豊かな成長を支える環境づくりを進める。
- オ「子どもとともに私も伸びる」という謙虚さ、「子どもと教師の学びは相似形」という共感的 な意識をもち、教師としての感性を磨きながら、情熱と人間力・指導力を備えた魅力ある教職 員集団を目指す。

(3) 本年度の重点努力目標

ア 豊かな心をもつ子ども(心:よい子)

豊かに感じ、表現する子どもの育成

- ・ あいさつと「はい」「ありがとう」「すみません」の言葉を大切にし、教育活動全体で道 徳的実践力を養う。
- ・ 子どもの心のひだをふるわす体験活動を意図的・計画的に展開し、感じる心と素直に表現 しようとする態度の育成を図る。
- ・ 読書活動や合唱など、文化的活動を充実させ、豊かな感性を育む。

イ たくましく生きる子ども(体:つよい子)

自ら進んで自分を鍛えるたくましい心と体の育成

- ・ 欠席0の日をめざし、いじめ・不登校の早期発見とその対応に努める。
- ・ 授業や行事、業間などあらゆる活動を通して、「きらきらタイム」等の体力づくりの主体的 な取り組みを推奨する。
- ウ 目を輝かせて学ぶ子ども (知:かしこい子)

自分の思いが表現できる子どもの育成

- ・ 子どもの眼と心を惹きつけ、夢中になって取り組めるような魅力ある授業づくりを工夫する。
- ・ ユニバーサルデザインの理論を活用し、友達の考えを聞いたり、自分の考えを伝えたりして、 仲間とかかわり合いながら意欲的に授業に参加できるよう手だてを工夫する。
- 子どものつぶやきや表情を鋭く感じ取り、指導にいかす教師の感性を磨く。
- ・ 教科指導において外国語・算数・音楽など、より専門性を生かした教科指導体制を取り入れるとともに、全教科・領域でICT教育の導入を推進していく。

2 現職教育の研究課題・研究分野

(1) 研究主題

「豊かな心をもち、目を輝かせて学び、たくましく生きる子の育成」 -自分の思いや考えを、自分の言葉で伝えられる授業・学級づくり一

(2) 研究の方針

- ア 一人一人が自分らしさを発揮できる学級づくりを目指す。
- イ 国語科を中心として、発達段階に応じた「話す」「聞く」力を系統的に育成する。
- ウ 学級全員が参加できる授業を目指し、ユニバーサルデザインの視点である「焦点化」「視覚化」 「共有化」の手だてを取り入れながら授業づくりを工夫していく。
- エ 「伝えたい」という意欲を育む授業の導入や授業展開を工夫する。

3 教職員構成

名	校	教	主	教	校	教諭	養	栄	事務職員	任期	県費	町学	用	介	S カ ウ	図書	Sサポ	教
称			幹教	務主	務主	· 講	護教	養教	(美)	付任	非常	校教員	務	助	リンセラ	館指導	ートスタ	職員
	長	頭	諭	任	任	師	諭	諭	事)	用	勤	等	員	員	ĺ	員	ッフ	計
人数	1	1	0	1	1	15	1	0	1	(1)	2	1	1	2	1	1	1	30

4 学級編成状況

学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	計
学級数	1	2	2	2	2	2	2	13
人数	29	36	36	46	46	53	6	252
実家庭数	12	18	25	42	44	53	3	197

5 クラブ活動・部活動等の編成状況

(1) 運動系

名 称	球 技	レクリエーション	卓 球	ゲートボール
人数	2 6	2 4	1 6	1 0

(2) 文化系

名 称	コンピューター	イラスト・塗り絵	ものづくり	おもしろ人形劇
人数	2 3	1 8	1 8	1 0

6 教育課程・日課編成上の特色

○ 少人数指導 確かな学力を定着させるために、第4学年以上の算数の授業等において行う。

○ 通 級 指 導 生活上、学習上で個別の支援を必要とする児童に行う。

○ 委 員 会 月曜日 第6時限(不定期) 4~6年 常時活動を重視する。

○ ク ラ ブ 月曜日 第6時限(不定期)4~6年

○ 集 会 活 動 月曜日 8時15分~8時35分(年間4回程度)

○ 読み聞かせ 水曜日 8時25分~8時35分

○ 読 書 タ イ ム 月・火・木・金曜日 8時15分~8時25分

○ きらきらタイム 月・火・水・金曜日 8時10分~8時15分

7 その他の特色ある活動

「あいさつ」「思いやり」「自分から」という姿が日常の子どもたちのなかに定着することを目標に、次のような活動を展開する。

(1) 豊かな道徳性の育成を図る体験活動

- ・ 縦割り班による清掃活動や集会活動(全校遊びの重視)
- うさぎの飼育活動
- 「あいさつ運動」「アルミ缶集め」などの児童活動
- ・ 学校田、畑における勤労体験学習
- ・ 地域のお年寄りの方々との交流活動

(2) 学校、家庭、地域が連携した体験活動

- ・ 地域の人を講師にして実践する学習活動
- ・ 家庭教育学級を中心とした親子活動
- 郷土を見直す、親子ふれあい「学区ウォークラリー」
- ・ 保護者・ボランティアによる読み聞かせ
- ・ 地域の人と連携した里山保全活動

8 PTAの組織(役員・委員の名称及びその人数)

会長··· 1名副会長··· 3名書記··· 3名会計··· 2名家庭教育委員··· 4名会計監査··· 2名

幹 事 … 2名



4月 縦割り班顔合わせ



1月 親子凧づくり(家庭教育学級)